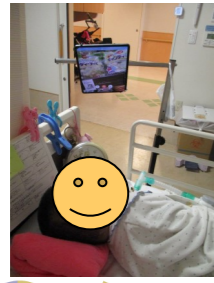


## リモートショッピング

令和4年12月からリモートショッピングを、1か月に1回実施しています。リモートショッピングは、実際の店舗に職員が行き、リモートで居室や活動室と繋ぐことで、利用者の皆様が実際にお店の品物を見てお買い物をしていただくことができます。(お店には事前に連絡し、了承を得て実施しています。) 帰り道の車からリモートで繋ぎ、一緒にドライブしている気分で「変わってないね」などと、話しながら街並みを見て楽しんでいただいています。2回目を楽しみにされている方も多く、これからも続けていきたいと思っています。



## 今年度(後半)の行事のお知らせ

10月「戸外散策」  
12月「クリスマス会」  
3月「戸外散策」

## 利用者様のおすすめレシピ紹介

### 天津飯

- ①卵に長ネギ、カニカマを混ぜてふんわり焼く。
- ②醤油、鶏がらスープの素、オイスターソース、ごま油でスープを作り、水溶き片栗粉でとろみをつける。  
↑あんを固すぎずやわらかすぎずに片栗粉で調節するのがポイント!
- ③ご飯の上に卵とあんをかけ、完成!



## 編集後記

朝晩は涼しい日が続き、あっという間に10月がやってきました。秋は過ごしやすい季節ではありますが、体調にお変わりありませんでしょうか。秋といえばやはり、旬の美味しいものがたくさんあるので、私はつい食べ過ぎてしまいます。おいしそうな焼き芋の香りや、焼き魚の香りを感じると、「今年も秋が来たなあ」と実感します。栄養豊富な旬のものをたくさん食べて、皆様が元気で笑顔に溢れる日々を送ることができるよう願っています。

発行元：奈良医療センター 療育指導室  
発行月：令和5年10月

# あおぞら 令和5年 第7号

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定(第2報)について

奈良医療センター 療育指導室  
療育指導室長 佐村 知哉

平素より、皆様方につきましては、当院の運営にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、7月はバンビ親の会月例会、9月は個別支援計画書の間評評価面談が約3年ぶりに実施され、少しずつですが、段階的に院内の運用が緩和してまいりました。

今後も、当院で開催しているCOVID-19対策会議を中心に、感染状況を注視しながら運用緩和に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

この度は令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の第2報についてご説明させていただきます。

前回7月のそよかぜでは、各団体とのヒアリングについてまでをご説明させていただきましたが、8月上旬で47団体とヒアリングが終了し、8月下旬の検討委員会で各団体からの意見を集約している状況にあります。

検討する論点として、以下の3点が挙がっています。

1. 障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり
2. 社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細やかな対応
3. 持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直し

1.に関して、医療と福祉の連携の推進を目的として、下記4点が挙げられていますが、特に②は、重症心身障害児者を守る会や国立病院機構からも意見を挙げていた事項であり、長期入院患者に限らず在宅患者に対してもサービスの質を向上させる運用になればと思います。

- ①相談支援と医療との連携のさらなる促進策
- ②医療的ケア児の成人期への移行にも対応した医療的ケアの体制の充実を図るための方策
- ③重度障害者が入院した際のコミュニケーション支援の充実
- ④障害者支援施設等における医療機関との連携強化・感染症対応力の向上

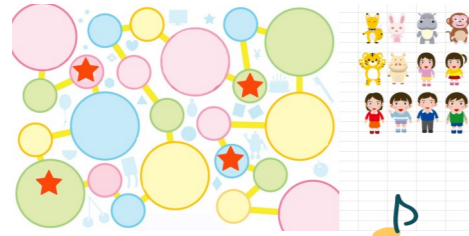
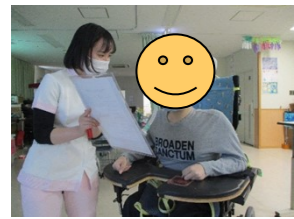
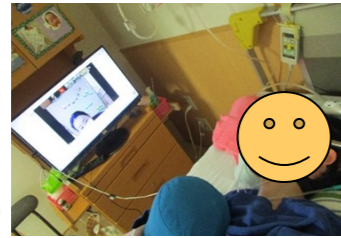
現在は、在宅支援事業から横断的事項を整理して、具体的な検討が行われていますが、今後、重症心身障害、神経筋・難病等の重度の障害者に関する事項も検討される予定になっています。

当院としても、動向を注視しながら院内の運用を構築すると共に、ご家族の方々に情報提供させていただきます。

4月・5月・6月行事紹介

「桜中継」

4月の4病院交流会は、宇多野病院主催で嵐山トロッコ電車からの桜景色の映像を鑑賞した後、桜に関するクイズに参加しました。車内のアナウンスや「ガタンゴトン」といった走行中の音も聞こえ、実際に乗っているかのような気分になりました。桜も満開が近く、とてもきれいでした。桜に関するクイズでは、“白、緑”などの花の色や、様々な大きさの桜があることを知りました。ほとんどのクイズを正解することができ、とても盛り上がりました。



「クイズ以心伝心！」

6月の4病院交流会では、「クイズ以心伝心！」を行いました。お題に基づき、連想する言葉を発表しました。「みそ汁の具といえば?」「ジブリといえば?」「前の交流会では何をしました?」等、様々なお題があり、司会者の声が聞こえなくなるくらい賑やかでした。いくつもあったお題の中でも「みそ汁の具といえば?」が1番盛り上がり、奈良医療センターでは豆腐とわかめの具が満場一致で人気でした。

7月・8月・9月行事紹介



「お笑いマジックショー」

7月行事は、「お笑いマジックショー」を実施しました。約3年ぶりの対面行事とあって「もうすぐ?」「後何日?」と、皆さんはこの日を指折り数えて待っておられました。当日は笑配師・花吹雪紫音さんのマジックに興味津々!また巧みな話術に大笑い。マジックのお手伝いもしましたよ!その後はお部屋を回っていただき、間近で楽しむこともできました。ショー終了後もしばらくYouTubeでマジックの動画を見る方もおられ、まだまだ興奮さめやらぬ様子でした。



「ルーレット」

8月の4病院交流会は、兵庫中央病院主催の「ルーレットゲーム」に、今回は代表者1名の方に参加いただきました。どのタイミングでどれだけのチップを賭けるのか、考えれば考えるほど迷ってしまう難しいゲームでしたが、思い切った賭けが連続で成功し、なんと、周りに大きく差を付けて1位を獲得することができました。「まさかここまで勝つとは…」と、ご本人もびっくりするような嬉しい結果に職員も大興奮でした。



「ボッチャ予選大会」

8月は9月の4病院交流会で行われる、ボッチャ大会に出場する選手を決めるため、予選大会を行いました。トーナメント制で14名が参加され、タブレットを使い、リモート形式や対面形式で1週間かけて試合をしました。どの試合も白熱した戦いでしたが、やはり、決勝戦は1番の盛り上がりとなり、参加された方も職員も試合前からドキドキして見守っていました。どんな試合結果であっても対戦相手を気遣う方が多く、“正々堂々”という言葉がぴったりな大会となりました。

